

認知機能サポート

- Wアプローチで脳をまもる “脳のごみ”を減らす × “神経伝達物質”を守る
- 認知症モデルマウスの記憶障害に対する有意な改善効果を確認

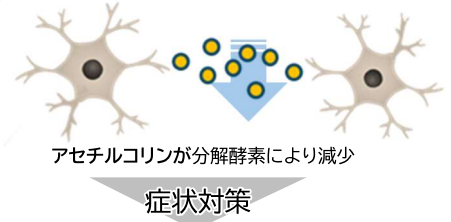
アルツハイマー型認知症の主な原因とボケエキスの効果

アルツハイマー型認知症では脳内で「アミロイドβ (Aβ) の凝集」が引き金となり、「記憶力に必要な神経伝達物質の減少」等がみられる

原因1 脳のごみ(Aβ凝集体)の蓄積



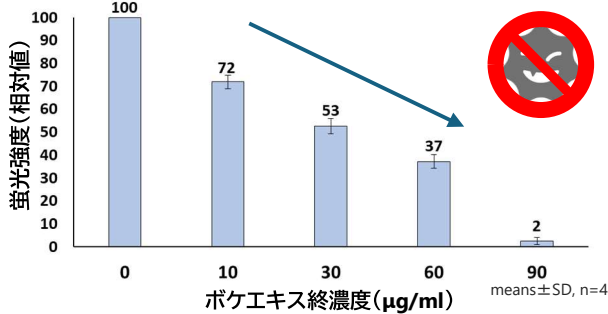
原因2 神経伝達物質(アセチルコリン)の減少



対策1 “脳のごみ”を減らす

in vitro試験：Aβ凝集体の形成抑制

Aβにボケエキスを添加し、37℃、24hインキュベート後、生成したAβ凝集体をチオフラビン法により測定

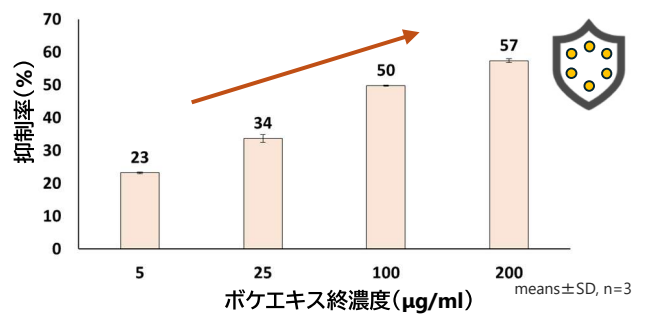


ボケエキスはAβの凝集を濃度依存的に抑制

対策2 “神経伝達物質”を守る

in vitro試験：アセチルコリン分解酵素の働き抑制

神経伝達物質分解酵素(アセチルコリンエステラーゼ)に対する抑制率を比色法により測定

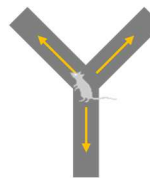


ボケエキスはアセチルコリン分解酵素の働きを抑制

ボケエキスは根本原因と症状にW作用し、認知症から脳をまもる

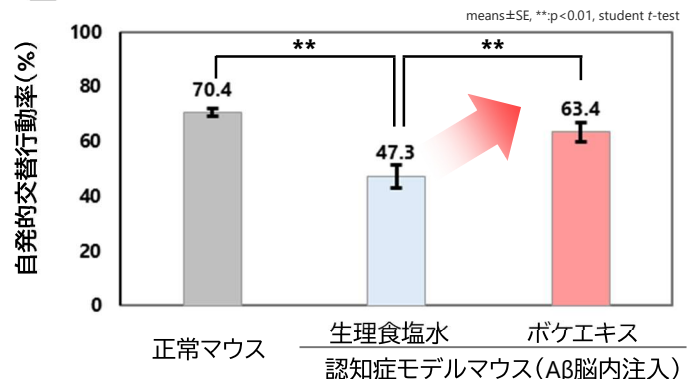
ボケエキスの記憶障害に対する改善効果

認知症モデルマウスでの試験結果



【Y字迷路試験とは】

- ・ マウスの新しい空間を探索する習性を利用した、記憶・学習行動の評価手法
- ・ マウスにY字迷路内を8分間、自由探索させ、3回連続で異なるアームに入った回数(自発的交替行動)の割合を算出
- ・ 記憶障害が起こると、直前に入ったアームを記憶できなくなり、自発的交替行動率の低下につながる



ボケエキスで記憶障害が有意に改善！認知症予防効果を示唆

試験動物	アルツハイマー型認知症モデルマウス (Aβを脳内に単回注入し、記憶障害を引き起こす) 正常マウス (偽手術群) 10頭 Aβ脳内注入 + 生理食塩水 (Control) 10頭 Aβ脳内注入 + ボケエキス 10頭
摂取期間	14日間 (Aβ注入前7日 + 後7日)
摂取量	500 mg/kg体重/日 (強制経口投与)
評価項目	記憶力の指標：Y字迷路試験

試験方法

